



校舎にお別れ ありがとう北舎

7月1日(日)

52年間の役目を終え改築される土岐津小学校の北舎に感謝の気持ちを伝えようと、同校でお別れ会がありました。会には在校生や保護者など約1,000人が参加し、懐かしい映像の鑑賞や卒業生が北舎の思い出などを語って別れを惜しみました。北舎は夏休み中に解体され、来年3月に生まれ変わります。



街頭啓発でまちを明るく

7月10日(火)

青少年の非行防止と地域から犯罪を無くそうと、青少年育成市民会議と保護司会が、JR土岐市駅前で啓発活動を行いました。1日保護司のたすきを身に着けた市内6校の中学生12人は、携帯電話の安全な利用を呼び掛けるチラシや、標語の書かれたうちわなどを駅の利用者に手渡し、犯罪や非行の防止を訴えました。



昆虫の王様 つかまえた

7月21日(土)

昆虫の王様といわれるカブトムシを観察する会が、高山城跡で開かれました。高山城高山宿史跡保存会が、自然観察を通じて親子の触れ合いを深めてもらおうと開催したもので、親子連れや会員ら約50人が参加。子どもたちは、同会が飼育したカブトムシを観察したり捕まえたりして、歓声を上げていました。



座禅・法話・ラジオ体操

7月21日(土)

妻木町の崇禅寺、八幡神社、大性院で「町民ラジオ体操の会」が開催され、小学生・幼稚園児の親子連れおよそ80人が参加しました。朝6時に集合した参加者は、座禅で心を落ち着かせたり、正座で宮司の講話を聴いたりした後、ラジオ体操や草取りなども行い、涼やかな夏の朝の時間を有意義に過ごしていました。



地域に広がり あいさつの輪

7月10日(火)



Voice 前期生徒会長
加藤由季乃さん
朝のあいさつは気持ち
がスッキリします。あい
さつの良さを、もっとみ
んなに分かってもらいた
いです。

土岐津中学校では、5月から生徒会やボランティアの生徒たちが「地域あいさつ運動」に取り組んできました。昨年までは校内で生徒を対象に行っていましたが、前期生徒会長の「あいさつの輪を地域に広めたい」という思いから、毎月2日間、地域でのあいさつ運動を展開。土岐津小学校の前で行われたこの日も、生徒たちのさわやかなあいさつが響いていました。



目指せ優勝 チームぎふ

7月6日(金)



ぎふ清流国体における天皇杯・皇后杯獲得を目指し、古田知事が市のウエイトリフティング場を訪れて強化指定選手を激励しました。選手を代表して加藤雄介さんが、3回許される試技に「1本目は指導者への感謝を込めて、2本目は家族や仲間のため、3本目は岐阜県のために、全身全霊を込めてバーベルを上げる」と誓いました。